

2019 年 11 月 29 日

各 位

株式会社電通国際情報サービス

ISiD、「第 3 回日経スマートワーク経営調査」で 4 星を獲得

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:名和 亮一、以下 ISiD)は、株式会社日本経済新聞社(以下日本経済新聞社)が 2019 年 11 月 12 日に発表した、働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する「第 3 回日経スマートワーク経営調査※」において、4 星を獲得しました。



日本経済新聞社グループは、新たな時代に競争力を発揮する企業経営のあり方として「Smart Work」を提案しており、2017 年より Smart Work を実践している企業を新しい「日本の優れた会社」として評価する、本調査を実施しています。「Smart Work」とは、多様で柔軟な働き方の実現等により人材を最大限活用するとともに、イノベーションを生み、新たな市場を開拓し続ける好循環を作り、生産性など組織のパフォーマンスを最大化させることを目指す経営戦略のことで、調査では、企業統治などの経営基盤も加えた、星 5 段階での評価がなされます。

今回 ISiD は「イノベーション力」の分野で高く評価され 4 星を獲得。前回調査の評価 3.5 星から上昇する結果となりました。

ISiD では 2021 年までの中期経営計画において「X Innovation(クロスイノベーション)」をスローガンに掲げ、Fintech・デジタルマーケティング・スマートエンタープライズ・ものづくり革新等、当社グループが強みを持つ領域で、テクノロジーや業界などの枠を超えた、顧客・ビジネスパートナー・スタートアップ・外部研究機関との協業によるイノベーション創出に積極的に取り組んでいます。7 月にはその推進母体となる「X Innovation 本部」を設置、新規事業開発組織を集約し、全事業部門の部門長を中心に構成する全社タスクフォース「プロジェクト X」をスタートさせました。

ISiD は今後も、「HUMANOLOGY for the future 人とテクノロジーで、その先をつくる」をビジョンに、高度な専門性を有する社員一人ひとりが生き生きと働ける仕組みや環境の整備に取り組み、課題解決に向け高品質で価値あるソリューションを生み出すことで、よりよい未来の創造に貢献します。

※日経スマートワーク経営調査: https://www.nikkei-r.co.jp/service/management/smartwork_survey/

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション部 赤瀬、李

TEL: 03-6713-6100

E-Mail: g-pr@isid.co.jp

<電通国際情報サービス(ISID) 会社概要>

社名	: 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISID)
代表者	: 代表取締役社長 名和 亮一
本社	: 東京都港区港南 2-17-1
U R L	: https://www.isid.co.jp/
設立	: 1975 年
資本金	: 81 億 8,050 万円
連結従業員	: 2,783 名(2018 年 12 月末現在)
連結売上高	: 91,024 百万円(2018 年 12 月期)
事業内容	: ISID は、社会や企業のデジタルトランスフォーメーションを、確かな技術力と創造力で支えるテクノロジー企業です。金融業務や製品開発の領域で創業以来培ってきた知見に加え、人事・会計など企業活動の根幹を支えるシステム構築の実績、電通グループのマーケティングノウハウ、そして IoT やロボティクス、AI など先端技術の社会実装に向けたオープンイノベーションへの取り組みにより、社会と企業の課題解決に貢献する、価値あるソリューションを生み出し続けています。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。